

大阪市立



いま ぶく 今福小学校

郵便番号

536-0003

所在地

城東区今福南2丁目1-53

電話番号

(06)6933-3412

FAX

(06)6931-9309

校長名

柳井 友裕



【概要】 校区の南側を寝屋川、中央を南北に城北川が流れ、川と共に発展してきた町です。校歌にあるように、東に生駒の山並みをのぞみ、西に錦城と言われる大阪城があり、創立95年を迎えます。

【教育目標等】 豊かな心を持ち、地域社会でたくましく生きる子どもを育てる。

【沿革】 昭和6年、鯉江尋常高等小学校の児童増加に伴い、鯉江第三尋常高等小学校として創立、昭和13年10月15日に、鉄筋3階建校舎が完成し落成式を挙行、この日を創立記念日と定める。昭和22年4月大阪市立今福小学校と改称し現在に至る。平成27年3月2号校舎耐震工事完了。令和3年1月エレベータ設置工事・玄関工事・外壁新設工事完了。令和3年10月、創立90周年記念式典を挙行。

運営に関する計画《学校園の令和8年度目標》

【安全・安心な教育の推進】

○ 令和8年度の大阪市学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○ 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○ 令和8年度の大阪市学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度 結果の概要と今後の方策】

【国語】 領域別では「書くこと」の内容に一番課題が見られた。目的や意図に応じて簡単に書いたりくわしく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。文章を書く目的や意図に応じて伝えたいことを明確にできるようにすることが大切だと考える。

【算数】 領域別では昨年度課題のあった「数と計算」の内容については、正答率がよくなってきたが、今年度は「データの活用」の内容に一番課題が見られた。目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉えて判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。記述式の問題では無解答率も高くなっているので、考えを分かりやすく他者に伝えることができるようになる必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

【令和7年度 結果の概要と今後の方策】

各種目の結果で大阪市と全国の平均を上回っているのは、男子は「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」の8種目中5種目であった。女子は「握力」「上体起こし」の2種目であった。

体育の授業では、ねらいやめあてを明確にし、意識して学習に取り組むことで、「できた」を実感することができた。また、友だちとお互いに教えあったり、交流したりする時間を設定し、個人の伸びや成果を指導者や友だちが認め励ますことで意欲的に活動することにつながった。引き続き、個人の力を試せる場の工夫をし、一人一人にめあてを持たせ、学習の成果を認め励ますことで、運動への意欲を高めていきたい。

今後も多様な運動を経験させたり、学級や全校で遊ぶ時間を作ったりして少しでも運動量を増やし、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じさせていきたい。

大阪市教育委員会では、令和7年度「全国学力・学習状況調査」「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」については、調査参加学年が単学級の学校の校長は、調査結果及び調査結果から明らかになった現状等を公表しないことができますとしていますので、本校では調査結果を公表しておりません。（全国平均・大阪市平均は31・32ページに記載しています。）

学校のアピールポイントなど

【自らの考えを表現する力の向上をめざして】

教員の指導力の向上を図るとともに、児童の「自分の考えを持ち、表現する力」を高める取り組みを重点的に進めます。また、漢字学習では、漢字検定にチャレンジするなど、それぞれが目標をもって学習を進めていけるようにしています。

読書については、朝の読書タイムや「読書の木」などの委員会活動、学校図書館補助員さんによる読み聞かせを充実し、読書への関心を高める環境整備を進めています。



【一人ひとりに寄り添う丁寧な指導】

令和7年12月に実施したアンケートで、「友だちと仲良く遊んでいる。」に肯定的に答えた児童は98%、また「お子さんが学校生活を楽しんでいますか。」に肯定的に答えた保護者は94%でした。

令和8年度全校児童は71名。子どもたちはもちろんのこと、教職員も児童一人ひとりについて顔と名前が一致します。家族的な雰囲気での信頼関係を大切に構築しながら多面的にきめ細かく子どもたちを見守っていきます。

【体験活動による豊かな心の育成】

地域の皆様から、プログラミング講座、茶道体験など、さまざまな体験活動を支援していただいています。また、校長経営戦略予算などを活用して、稲作体験、盲導犬体験、SNS講座と様々な分野のゲストティーチャーを招いて、子どもたちの視野を広げ、自己の特性や可能性に気づくことができるようにしています。



校外にも積極的に出ています。例年、4年生がニッセイ名作劇場でミュージカル鑑賞へ、5・6年生がいずみホールでの音楽鑑賞へ、6年生はさらにこころの劇場で劇団四季のミュージカル鑑賞へと、少人数の利点を生かして抽選をパスし参加できています。これらの本物に触れる体験を通じて豊かな感性を育み、そこで一生懸命に仕事をしたり、演技したりする人たちの熱い思いを受け止めることで、自らのキャリアや生き方を考えるきっかけにつなげてほしいと願っています。

また6年生は、卒業遠足としてキッザニア甲子園に行き、職業体験を行います。

【全学年での英語活動】

小中学校9年間の英語教育を見据え、本校では3～6年生に加え、1～2年生にも英語活動を行っています。歌や手遊びなど、興味や関心を高める工夫を凝らしています。令和7年12月の児童アンケートでも、84%を超える児童が、「英語が好き」と肯定的な回答をしていました。



● 校庭に「田んぼ」があります。



【田植え】



【稲刈り】



【脱穀】

毎年、シニア自然大学校「風と緑の会」の方からご指導を受け、5年生が田植え、稲刈り、昔ながらの手動の脱穀機を使い、脱穀の体験をします。そして、最後に、収穫した「今福米」を、みんなでおいしくいただきます。大阪市内から「田んぼ」が姿を消しつつある中、子どもたちにとっては、たいへん貴重な体験です。

学校案内図

(18ページもあわせてご覧ください)



今福小学校